

令和4年4月

各位

愛知県信用保証協会

## 令和3年度の事業概況

日ごろは、本協会の業務運営に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。  
このたび令和3年度の事業概況をとりまとめましたのでお知らせします。

愛知県におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令が繰り返されるなど、経済活動が大幅に制限されました。

令和3年度における日本銀行名古屋支店発表の「東海3県の金融経済動向」では、コロナの影響によりサービス業など一部に厳しい状況が続いているものの、製造業を中心に改善し、景気は総じて「持ち直している」とされていましたが、2月以降は、原油・原材料価格の高騰やウクライナ情勢等の影響を背景に、「持ち直しの動きが一服している」と判断が引き下げられています。また、株式会社東京商工リサーチ発表の「全国企業倒産状況」では、愛知県においてもコロナ禍の各種支援策により倒産は抑制されているとされています。

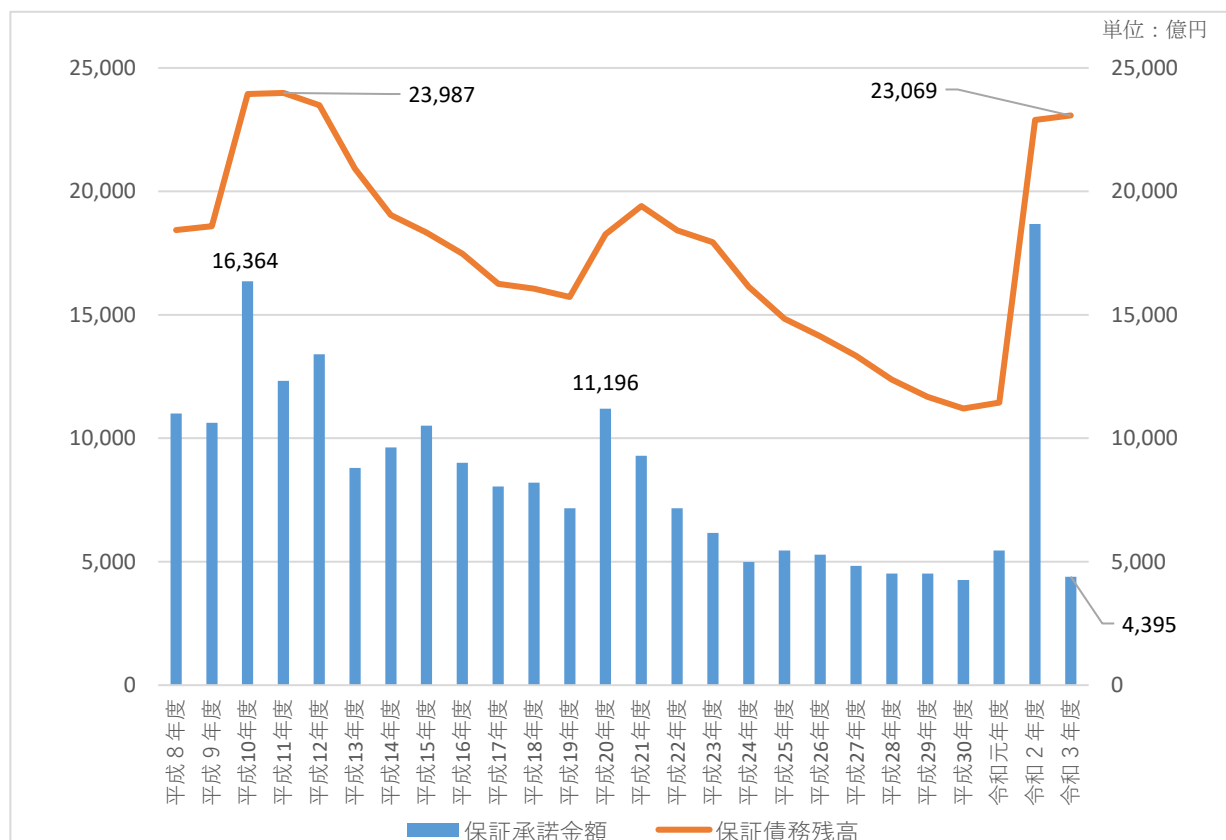
本協会におきましては、令和3年度の保証承諾額は4,395億円（前年度対比23.5%）と無利子無保証料融資の終了に伴い、前年度実績を大幅に下回りましたが、コロナの影響を受けた事業者に対する保証制度である「伴走支援型特別保証制度」を中心に迅速な金融支援に努めてまいりました。また、コロナ関連の資金支援を行った事業者や、創業時、事業承継時、再生時などの様々なライフステージの事業者に対し、金融と経営の両面からの支援を適時適切に行い、事業者が抱えるひとつひとつの課題に対しきめ細かな対応に努めました。保証債務残高は、令和3年度初めまで無利子無保証料融資の保証利用が続いたことから、2兆3,069億円（前年同期比100.7%）と前年度と同水準を維持しています。代位弁済額は依然として落ち着いた状況で推移し107億円（前年度対比93.1%）と前年度実績を下回りました。

県内の中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、長期に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響のみならず、資源価格高騰による影響やカーボンニュートラルへの対応など大きく変化しています。本協会では、創業期から再生期まで一貫性を持った支援を目指し、令和4年4月に組織改編を行い事業者の利便性向上、ライフステージに応じた切れ目のないワンストップの伴走支援態勢の強化、金融支援と経営支援の一体的な取組みに一層力を入れてまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

(単位 億円、%)

| 区 分    | 平成30年度 |       | 令和元年度  |       | 令和2年度  |       | 令和3年度  |       |
|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|        | 金 額    | 前年度対比 | 金 額    | 前年度対比 | 金 額    | 前年度対比 | 金 額    | 前年度対比 |
| 保証承諾額  | 4,256  | 94.1  | 5,454  | 128.2 | 18,685 | 342.6 | 4,395  | 23.5  |
| 保証債務残高 | 11,205 | 96.0  | 11,443 | 102.1 | 22,899 | 200.1 | 23,069 | 100.7 |
| 代位弁済額  | 161    | 114.9 | 148    | 91.8  | 115    | 77.6  | 107    | 93.1  |

## 保証承諾金額、保証債務残高の推移（平成8年度～令和3年度）



## 保証承諾金額の月別推移（令和3年度）

